

令和3年度 事業報告書



社会福祉法人 鳳雄会

目次

I 法人本部	1
1. 事業報告	1
2. 理事会開催状況	1
3. 評議員会開催状況	2
4. 評議員選任解任委員会開催状況	2
5. 従業員の状況	3
II エンジェルホーム	4
1. 事業報告	4
2. 施設利用状況実績報告	5
3. 研修報告	6
4. 行事報告	6
5. その他報告事項	7
III ほうゆう・キッズホーム	8
1. 事業報告	8
2. 施設利用状況実績報告	9
3. 研修報告	10
4. 行事報告	12
5. その他報告事項	12
IV 子ども未来サポートセンターほうゆう	13
1. 事業実績報告	13
2. 事業実績報告集計表	14
V ほうゆうの里	15
1. 事業報告	15
2. 施設利用状況実績報告	19
3. 研修報告	20
4. 行事報告	20
5. その他報告事項	20

VI	ほうゆうベビーホーム	21
1.	事業報告	21
2.	施設利用状況実績報告	22
3.	研修報告	23
4.	行事報告	23
5.	その他報告事項	23
VII	子ども未来サポートセンターやちよ	24
1.	事業実績報告	24
2.	事業実績報告集計表	25
VIII	ゆうゆう保育園	26
1.	事業報告	26
2.	施設利用状況実績報告	27
3.	研修報告	28
4.	行事報告	28
5.	その他報告事項	29
IX	ゆうゆう苑	30
1.	事業報告	30
2.	施設利用状況実績報告	33
3.	研修報告	34
4.	行事報告	35
5.	その他報告事項	35

I. 法人本部

1. 事業報告

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に始まり終わりました。各施設の職員、利用者から感染者や濃厚接触者などが出てしまったのは残念ですが、一人ひとりの取り組み、煩雑さなども含め心配事の多い一年だったように思います。

児童、高齢者施設に従事する職員の確保は年々困難になっており、ここ数年の傾向として実感しています。例年であれば学校の実習生の受け入れも出来たのですが、コロナの関係で停止せざるを得ない状況でした。毎年実習生から就職希望者がいるのですが少なかったように思います。

外国人の技能実習生は、コロナ禍による入国規制等により予定が大幅に変更となり、見通しが難しかったですが、EPA・技能実習生、特定技能者の受け入れが決まり入職となりました。

面会、行事、ボランティア、里親交流、地域との交流等コロナ禍において全面的に中止、一部縮小とし寂しい年となりました。外部研修も無くなりオンライン研修が若干開催されましたが、環境が整わない状況もあり思うように参加できませんでしたが、開催状況により資格取得が可能な研修では、支援により資格を取得することができました。

入所者の退所に伴い新規入所者の受け入れは、コロナ禍による困難はあり待機してもらったこともありましたが、デイサービスは一日も休むことなく運営する事が出来、新年度による保育園児の受け入れを滞りなく受け入れる事がたことは幸いでした。

2. 理事会開催状況

開催日	出席者	議案
R3. 6. 5	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 令和2年度事業報告 2号議案 令和2年度決算 3号議案 評議員選任解任委員の選任 4号議案 任期満了に伴う理事および監事の推薦 5号議案 任期満了に伴う評議員の推薦 6号議案 評議員選任解任委員会の開催 7号議案 評議員会開催 8号議案 随意契約 9号議案 職務の執行状況の報告
R3. 6. 19	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 理事長および業務執行理事の互選 2号議案 ベビーホーム小規模化の施設整備
R3. 9. 25	決議の省略	1号議案 ベビーホーム駐車場整備の指名競争入札
R3. 10. 13	決議の省略	1号議案 ベビーホーム駐車場整備の指名競争入札結果

開催日	出席者	議案
R3. 12. 11	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 随意契約 2号議案 給与規程の改訂
R4. 3. 5	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 令和4年度事業計画 2号議案 令和3年度補正予算 3号議案 令和4年度予算 4号議案 随意契約 5号議案 規程の改訂（就業規則、ハラスメント防止要綱 給与規程） 6号議案 評議員会の開催 7号議案 職務の執行状況の報告

3. 評議員会開催状況

開催日	出席者	議案
R3. 6. 19	評議員 6 名 理事 2 名	1号議案 令和2年度事業報告 2号議案 令和2年度決算 3号議案 任期満了に伴う理事および監事の選任
R4. 3. 12	評議員 6 名 理事 2 名	1号議案 令和4年度事業計画 2号議案 令和3年度補正予算 3号議案 令和4年度予算

4. 評議員選任解任委員会開催状況

開催日	出席者	議案
R3. 6. 19	委員 3 名 業務執行理事	任期満了に伴う評議員の選任

5. 従業員の状況

1) 法人全体

雇用形態		人数		平均年齢	平均勤続年数
		年度初	年度末		
常勤	正職員	180	189	37.8歳	5年1ヵ月
	定年後再雇用	19	19	66.1歳	7年4ヵ月
パート		73	74	55.5歳	5年0ヵ月
合計		272	282	44.4歳	5年2ヵ月

2) 事業所別

事業所	雇用形態	年度初	入職 (うち異動)		退職 (うち異動)		年度末
乳児院 エンジェルホーム	常勤	32	4		5		31
	パート	5	1				6
児童養護施設 ほうゆう・キッズホーム	常勤	37	3		4		36
	パート	0	0		0		0
子ども未来サポート センターほうゆう	常勤	2					2
	パート	2			1		1
特別養護老人ホーム ほうゆうの里	常勤	34	16		8	(1)	42
	パート	28	6	(1)	6		28
乳児院 ほうゆうベビーホーム	常勤	29	2		2		29
	パート	5					5
子ども未来サポート センターやちよ	常勤	3			1		2
	パート	1					1
ゆうゆう保育園	常勤	14	1				15
	パート	14	4		3		15
特別養護老人ホーム ゆうゆう苑	常勤	48	18		15	(2)	51
	パート	18	8	(2)	8		18
合計	常勤	199	44		35	(3)	208
	パート	73	19	(3)	18		74
	合計	272	63	(3)	53	(3)	282

II. エンジェルホーム

1. 事業報告

4月より小規模グループケアを開始しました。1ユニット4～6人で生活し、養育者も出来るだけ固定で行って来ました。不安だった夜間帯の勤務は、離れたユニットへの連絡を内線等を使用したり、有事にはオンコールも活用しながら緊急時の対応を行って来ました。新しい取り組みとしては近くのコンビニエンスストアにおやつを買いに行くというお買い物体験を行いました。又、調理職員の人数に余裕がある時にはユニット内で調理をしてもらい、作っている様子を間近で見たり、匂い等を感じる経験も出来ました。毎日ユニットで調理する事は難しいですが、夕飯時に汁物を温める事はユニット職員でも出来る為、毎日継続して行いました。出来る限り家庭に近い経験が出来るよう努めてきましたが、まだまだ経験としては足りない事も多いので、今後も子どもたちが様々な経験を積めるよう努めていきたいと思えます。

小規模グループケアは子どもたちの安定に繋がり、職員も以前より余裕を持って養育出来る場面もありますが、その反面1人で子どもたちを養育する場面も増えました。有事の際は扉を挟んだ隣のユニットに声を掛けられる状況ではありましたが、1人で頑張らなきゃという思いが強くなってしまったり、1人で養育する事により抑止力になる人の存在が無くなる場面も多くなり、その結果、寝かしつけの際に不適切な養育を行ってしまうという事案が発生してしまいました。今後同じことを繰り返さない為に、どんな場面でも子どもの事を一番に考え、周りの職員が制止する行動を取ると共に、誰にでも起こり得ることとを考え、一人で抱え込まない養育に取り組んできました。その取り組みの一つとして年度途中からユニット会議を月1回行う事にしました。ユニット会議ではユニット内の困り事や、統一すべき事、不適切な養育について話し合う機会になるよう努めると共に、ユニット内の子どもたちのアセスメントもしています。アセスメントの結果を養育計画にも繋げ、ユニット職員全員でユニットの子どもたちを養育している意識を高める事が出来ました。課題であった職員間のコミュニケーションの向上の機会にも繋がったと感じています。しかし交代勤務である為、同じユニット職員の姿が見え辛く、その中で職員同士がどう連携していくかが新たな課題であると考えます。

年度終わりにはコロナウイルス感染症のクラスターになりました。子どもたちはマスクが出来ない為、1人出してしまうとあっという間に広がりました。職員が減っていく中、子どもたちの生活を守るべく、最終的には症状が軽減した陽性職員が陽性になった児を見る事になりました。苦渋の判断ではありましたが、子どもたちの生活を守る為には最善の決断だったと思っています。

小規模の事やコロナの事があり、正に変革の年でした。今後もたくさんの変化があると思えますが子どもたちにとって良い変化が多くなるよう努めていきたいと思えます。

2. 施設利用状況実績報告

1) 措置入所・一時保護委託

定員：20名

	措置入所		一時保護		合計	
	月初人数	延べ人数	月初人数	延べ人数	月初人数	延べ人数
4月	13	390	3	109	16	499
5月	13	383	4	156	17	539
6月	12	360	6	202	18	562
7月	12	361	8	226	20	587
8月	12	372	6	213	18	585
9月	12	379	6	180	18	559
10月	12	372	6	200	18	572
11月	12	360	6	180	18	540
12月	12	372	6	186	18	558
1月	13	403	5	159	18	562
2月	13	364	6	191	19	555
3月	13	403	7	217	20	620
合計	149	4,519	69	2,219	218	6,738

2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
養育困難	11	家庭復帰	14
身体的虐待	4	措置変更	3
心理的虐待	2	里親委託	2
ネグレクト	4		
合計	21	合計	19

3) 子育て短期支援事業

ショートステイ利用延べ人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	7	6	3	0	0	16

※新型コロナウイルス感染症により11月～1月を除き受入停止

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R3. 8. 10～27	第 64 回全国乳児院研修会(動画視聴)	3
R3. 10. 11～31、11. 10	関東ブロック乳児院協議会初任者研修会(動画視聴・ZOOM)	3
R3. 9. 13	千児協初任職員研修会(ZOOM)	2
R3. 11. 15～30	第 55 回関東ブロック乳児院研究協議会	1
R3. 12. 6～20	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	1
R4. 2. 18～3. 10	ファミリーソーシャルワーク研修会	2
R4. 2. 14	基幹的職員研修	1
R4. 3. 1	第 10 回乳児院上級セミナー	

2) 内部研修

日程	研修内容	参加人数
R3. 4. 9	事業計画・虐待・権利擁護・新人育成・乳幼児の睡眠	全職員
R3. 6. 10	救命救急	全職員
R3. 7. 9	愛着	全職員
R3. 10. 10	SIDS・食物アレルギー	全職員
R3. 11. 10	権利擁護	全職員
R3. 12. 10	里親支援業務	全職員
R4. 1. 11	FSW 業務	全職員
R4. 3. 30	各ユニット研修(愛着形成・新入所児の支援・1人ひとりに合った養育・乳児院における保育士とは)	全職員

4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
R3. 4. 1	お花見会	6
R3. 5. 5	端午の節句	全児童
R3. 5. 11	アンデルセン公園	2
R3. 6. 25	鴨川シーワールド	5
R3. 7. 7	七夕	全児童
R3. 7. 23	エンジェルホーム夏祭り	全児童
R3. 8. 13	かき氷作り	2
R2. 9. 15	お菓子作り	3
R3. 9. 21	お月見	全児童

日程	行事内容	参加人数
R3. 10. 26	お楽しみ遠足 (KABAZOO)	9
R3. 10. 31	ハロウィン	全児童
R3. 11. 7	お楽しみ会 (動物との触れ合い)	全児童
R3. 11. 10	成田さくらの山公園・成田ゆめ牧場	3
R3. 12. 9	千葉県動物公園	2
R3. 12. 23	クリスマス会	全児童
R4. 1. 1	お正月	全児童
R4. 1. 4	初詣	9
R4. 2. 3	節分	全児童
R4. 3. 3	桃の節句	全児童

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	22人
里親実習	0人

2) ボランティア実績

保育補助	0
ヘアカット	0

3) 広報誌発行実績

4月 (No.52)
8月 (No.53)
1月 (No.54)

Ⅲ. ほうゆう・キッズホーム

1. 事業報告

年度開始早々、職員2名が退職し、その結果専門職員を1名、現場職員1名欠いてのスタートとなりました。半年後ようやく1名雇用となりましたが、専門職員の欠員補充は満たされませんでした。

令和3年度は年度内に幼児4名が入所。令和4年の春には2名の子どもがそれぞれの夢に向かって進学し、施設を卒園。4名の子どもが養育環境の整った家庭に帰って行きました。近年、家庭復帰の件数が減り、施設で生活する高齢児の数が増加。コロナ禍における緊急事態宣言や蔓延防止、施設内でコロナの陽性者が出た事による隔離生活の影響を受け、不登校となる高校生が現れ、4月に高校へ入学した5名の内、年度末には2名が退学する事となりました。当施設では、これまで高校に進学した子どもの半数が卒業まで辿り着けず、大きな課題となっています。

子ども達の暮らしでは、感染予防を念頭に工夫を凝らしてのイベントを実施。夕涼み会や旅行、クリスマス会を行なう事が出来ました。ご寄付、助成金においても数多くの個人の方や支援団体からご支援頂きました。ガスレンジ、ブルーレイレコーダー、洗濯機。イベントでのクレープ、バナナジュース、ピザの提供。クリスマスにはたくさんのプレゼントやケーキのご寄付。助成金で子ども達のサイクルポートを設置する事も出来ました。

生活住環へも意識を配り、物置の設置、流し台・洗面台の蛇口の交換、リビング照明をLDEへ交換、老朽化したテレビの買い替え等、環境改善を図りました。

施設運営にあたっては業務記録のITC化を図り、児童記録管理システム「すこやか日誌」を導入。報告・連絡・相談の向上の他、コロナ陽性者が出た際の隔離生活において、互いのホーム状況を把握する上で非常に役立ちました。

施設内でコロナの陽性者が出た際の対応として、小規模グループケア体制である事が功を奏し、対応にあたった職員には大変負担となりましたが、そのホームを完全隔離する事で、感染を最小限に留める事が出来ました。

令和3年度の事業計画は 1)施設の機能強化推進に向けた取り組み 2)子ども達の憩いの場の提供に向けた取り組み 3)専門性の向上 の3項目を掲げ、報告の内容は以下の通りとなっています。

1) 施設の機能強化推進に向けた取り組み

職員の有志によるリビングケアの学習会を立ち上げ、リビングケアの重要性について共通認識を持つ機会を設けました。そして、ボランティアとしてご協力頂いたNPO団体や企業等に施設で生活している子ども達の課題を知って頂き、子どもの自立について一緒に考えて頂きました。その結果、職場体験をする機会を設けて頂き、子どもに提供する事が出来ました。

2) 子どもたちの憩いの場の提供に向けた取り組み

令和2年度より準備を始め、開設に至った子ども達の憩いの場。中高生を中心に普段の何気ない語らいや学習の場としてだけでなく、子どもからの施設に対する要望や自身の成育歴の振り返りの場として成果をあげました。コロナ禍の影響から部屋を開放する事が出来なかったり、自由に部屋を使える優越感から子どもらの勝手気ままな行動による事件が勃発した事で部屋の利用に制限を掛けなくてはいけなくなったりといった課題も出ました。この教訓を今後の取り組みに活かしていきたいと考えます。

3) 専門性の向上

コロナ禍でオンラインによる研修が主でしたが、年間36回の外部研修に延べ53名の職員が参加しました。令和3年度の事業計画にあげていた「トラウマインフォームドケア」の知識の習得にあたっては、千葉県が主催した研修で学ぶ機会が設けられ、一線で活躍している職員が受講する事が出来ました。今後、「トラウマインフォームドケア」に関する知識を施設内で一般化できるよう周知を志したいと考えています。

2. 施設利用状況実績報告

1) 措置入所・一時保護委託

定員：本体施設 38 人 / 地域小規模 6 人 2 ヶ所

	措置入所		一時保護		合計		地域小規模東棟		地域小規模西棟	
	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ
4月	36	1,080	1	30	37	1,380	6	180	6	180
5月	36	1,116	1	19	37	1,135	6	186	6	186
6月	36	1,080			36	1,080	6	180	6	180
7月	36	1,116			36	1,116	6	186	6	186
8月	36	1,116			36	1,116	6	186	6	186
9月	36	1,080			36	1,080	6	180	6	180
10月	36	1,146			36	1,146	6	186	6	186
11月	37	1,110			37	1,110	6	180	6	180
12月	37	1,147			37	1,147	6	186	6	186
1月	37	1,147			37	1,147	6	186	6	186
2月	37	1,036			37	1,036	6	168	6	168
3月	37	1,130			37	1,130	6	186	6	180
合計	437	13,304	2	49	439	13,353	72	2,190	72	2,184

2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
心理的虐待	1	家庭復帰	3
その他	3	自立	1
合計	4	合計	4

3) 子育て短期支援事業

	ショートステイ	トワイライトステイ	トワイライトステイ宿泊	休日預かり	合計
12月	0	0	0	2	2

※新型コロナウイルス感染症により 11月～1月を除き受入停止

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R3. 4. 4	養子の. 2021 オンライン	1
R3. 5. 15	子どもシェルターと児童虐待	1
R3. 5. 18	家庭養育の推進における課題と対応	1
R3. 5. 21	SBI ブロック別児童養護施設職員リーダー研修	3
R3. 5. 26	第 57 回子どもの虐待防止セミナー	1
R3. 6. 16	第 1 回児童養護施設様向けみらいこども財団セミナー	2
R3. 7. 3	FLEC フォーラム緊急シンポジウム	1
R3. 7. 5	第 56 回関東ブロック児童養護施設研究協議会	2
R3. 7. 8	社会的養護経験者の自立支援に関する研修会及び事業計画共有会	1
R3. 8. 15	教育・福祉分野における被虐待児への対応とセラピー	1
R3. 9. 11	ちば子ども若者アフターケアネットワーク事業キックオフシンポジウム	1
R3. 9. 13・14	初任者職員研修会	5
R3. 9. 25・26	子ども支援のための認知行動療法講習会	1
R3. 10. 15	愛着障がいをめぐるって	2
R3. 10. 16・17	第 66 回全国里親大会福岡市大会	1
R3. 10. 27	第 74 回全国児童養護施設長研究協議会	1
R3. 10. 30	第 2 回「外国にルーツのある子どもの在留資格や国籍に関する相談支援	1
R3. 10. 30	マルトリートメントが子どもの脳の発達に与える影響	1
R3. 11. 8	感情や行動をコントロールできない子どもの理解と支援	1
R3. 11. 20	養子と里親を考える会 第 139 回定例会	1
R3. 11. 27	第 3 回外国にルーツのある子どもの在留資格や国籍に関する相談支援	1

日程	研修内容	参加人数
R3. 11. 27～29	SBI 児童養護施設職員研修	1
R3. 12. 6～20	令和3年度社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	1
R3. 12. 8	第35回関東ブロック児童養護施設職員研修会	1
R4. 1. 10	0歳児の愛着を育てる	1
R4. 1. 28	第4回FLECフォーラムプレセッション	1
R4. 1. 28～30	第4回FLECフォーラム	1
R4. 1. 30	子ども・若者の支援	1
R4. 2. 14・21	初任職員フォローアップ研修会	4
R4. 2. 14～28	第2回関東ブロック児童養護施設事務・運営管理者研修会	1
R4. 2. 14・15・21・3. 1	令和3年度基幹的職員・ユニットリーダー研修	3
R4. 2. 18～3. 10	令和3年度ファミリーソーシャルワーク研修会	2
R4. 2. 28	第14回研究大会	1
R4. 3. 1	令和3年度基幹的職員・ユニットリーダー研修再受講	1
R4. 3. 7～14	令和3年度児童養護施設中堅職員研修会	3
R4. 3. 10	社会的養護応援セミナー	1

2) 内部研修

日程	研修内容	参加人数
R3. 5. 19・21・25・26	アセスメント会議	28
R3. 5. 28	今後の児童養護施設に求められるもの 第1章 総論	27
R3. 6. 1・3・4・8	アセスメント会議	26
R3. 6. 25	今後の児童養護施設に求められるもの 第2章 各論Ⅰ	27
R3. 7. 14	今後の児童養護施設に求められるもの 第2章 各論Ⅱ	26
R3. 9	新型コロナウイルス感染防止のため中止	—
R3. 10. 29	今後の児童養護施設に求められるもの 第2章 各論Ⅲ	28
R3. 11. 22・24・29・30	アセスメント会議	28
R3. 11. 26	今後の児童養護施設に求められるもの 第2章 各論Ⅳ	24
R3. 12. 2・3・6・9	アセスメント会議	26
R3. 12. 15	今後の児童養護施設に求められるもの 第2章 各論Ⅴ	28
R4. 1. 14	アセスメント会議	7
R4. 1	新型コロナウイルス感染防止のため中止	—
R4. 2	新型コロナウイルス感染防止のため中止	—
R4. 3. 17	職員健康診断と重なり中止	—

4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
R3. 6. 27 12. 12	柚ホーム外出 (クロスポ/市原ぞうの国・サリワールド)	17
R3. 8. 20	夕涼み会	全児童・職員
R3. 8. 27	招待行事 (ビートルランド)	13
R. 3. 8. 25	本館お泊り会 (旭ホーム)	9
R. 3. 10. 2	オセロ大会	11
R3. 10. 9 R4. 1. 15	楠ホーム外出 (成田ゆめ牧場 or クロスポ/大洗水族館) ・外食	14
R3.10.10・22・23 R4.1.8	ホーム外食 (柚・旭・西棟・東棟)	各 9
R3. 10. 23	椿ホーム外出 (クロスポ) ・外食	9
R3. 11. 3	柊ホーム外出 (マザー牧場)	6
R3. 11. 5	七五三 (検見川神社 or 稲毛神社)	12
R3. 11. 13~14	バス旅行 (富士サファリパーク・プレジャーフォレスト)	59
R3. 11. 13~14	幼児お泊り会 (千葉市動物公園・よみうりランド)	9
R3. 11. 28	東棟ホーム外出 (ラウンド1) ・外食	9
R3. 11. 28 12. 19	個別外出 (鴨川シーワールド・映画鑑賞)	各 2
R3. 12. 4	サイクリング	17
R3. 12. 10	自主調理	3
R3. 12. 15	招待行事 (バスケットボール試合観戦)	16
R3. 12. 18	桜ホーム/西棟ホーム外出 (ラウンド1) ・外食	16
R3. 12. 25	クリスマス会	全児童・職員
R4. 1. 1 1. 2 1. 3	初詣 (千種神社/千葉神社/検見川神社)	18
R3. 1. 3 R4. 3. 20	旭ホーム外出 (釣り堀・クロスポ/市原象の国・映画)	18
R4. 1. 16	マラソン記録会	14

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	24 名
里親実習	10 組

2) ボランティア受入実績

ヘアカット	7 回
空 手	64 回
学 習	8 回
茶 道	3 回
その他	2 回

VI. 子ども未来サポートセンターほうゆう

1. 事業実績報告

A、相談件数（個別相談・指導）

※設置運営要綱4－（1）（4）の一部等に該当

1、個別相談

（1）月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	39	7	16	14	3	10	15	27	17	14	6	15	183
継続相談人数	0	28	25	31	23	24	24	23	27	25	24	18	272
月別相談実人数	39	35	41	45	26	34	39	50	44	39	30	33	455

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

（2）月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	89	111	152	92	84	126	93	97	80	74	52	74	1124
来所相談	6	8	6	5	0	0	0	3	8	3	2	0	41
訪問相談	26	25	23	41	13	23	26	17	22	19	7	11	253
心理療法等	10	10	13	11	2	3	5	5	4	3	3	5	74
メール相談	5	6	0	0	8	4	0	0	1	1	1	2	28
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他（ ）	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	5
月別延件数	137	160	194	149	107	158	124	122	115	102	65	92	1525

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のこと>

（3）相談・指導内容の種別延件数

※（再）は再掲

養 護 虐待(再)	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	DV	その他	合計	
				性格行動	不登校	適 性	しつけ					
830	91	102	33	29	93	143	0	49	1	36	209	1525

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

（4）相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上 本人	里親 里子	その他	合計
児童相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
160	147	12	1	49	79	82	816	0	143	20	4	12	1525

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

B、児童相談所からの委託による指導

※設置運営要綱4－（3）に該当

< 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	2	4	3	4	5	7	7	8	8	7	12	74

⑥ 実人数 2 人 <※委託を受けた人数>

< 指導内容の種別 >

養 護 虐待(再)	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	その他	合計
				性格行動	不登校	適性	しつけ			
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

C、市町村の求めに応ずる事業

※設置運営要綱4-(2)に該当

事業名	実施回数	内容
合計	0回	⑧

D、里親等への支援（相談対応「実績報告A-1、個別相談」以外の支援・事業等）

※設置運営要綱4-(4)に該当

事業名	実施回数	内容
里親子広場	8	里親子交流やまびこプレーパーク
里親制度啓発活動	5	パネル展示・里親体験談
支援事業委員会	8	里親支援計画
プチ学びの会	6	学習会
合計	27回	⑨

E、関係機関等との連携・連絡調整

※設置運営要綱4-(5)に該当

事業名	実施回数	内容
要対協実務者会議	6	千葉県花見川区・千葉市美浜区
ケースカンファレンス	12	支援状況の共有と支援方法の検討
連携・連絡調整	357	支援状況の共有と支援方法の検討
合計	375回	⑩

2. 事業実績報告集計表

①	相談の実人数（合計）	183人
②の内訳	電話相談件数	1124件
	来所相談件数	41件
	訪問相談件数	253件
	心理療法等の件数	74件
	メール相談の件数	28件
	手紙相談の件数	0件
	その他の相談の件数	5件
②	相談延件数（合計）	1,525件
⑥	児相からの指導委託人数	2人
⑧	市町村の求めに応ずる事業	0回
⑨	「里親等への支援」（相談対応以外の支援・事業等）の回数	27回
⑩	「関係機関等との連携・連絡調整」の回数	375回
⑪	要綱に規定された事業回数（合計）	402回
⑫	相談延件数と要綱に規定された事業回数の総合計（②+⑪）	1,927件・回
⑫-1	厚労省が求める訪問相談件数（実績を2倍した件数を記入）	506件
⑬	厚労省が求める相談延件数と事業回数の総合計 （訪問相談件数を2倍にした相談延件数と事業回数の総合計を記入）	2,180件・回

V. ほうゆうの里

1. 事業報告

新型コロナウイルス感染の自粛によりオンライン面会も3年目となり、ご家族、地域との交流が持てないなか、ユニット毎でミニ運動会や誕生会など工夫し入居者に楽しんでいただきました。

令和3年度ほうゆうの里では、ご逝去や医療型施設入院による退居者10名、入居者14名、やよい従来型では、退居者4名、入居者5名でした。

EPA1名、技能実習生1名、特定技能実習生8名の受け入れができましたが、特定技能実習生2名の離職者があり、特定技能実習生の雇用の難しさを実感しています。業務に関わるコミュニケーション、業務日誌の記入など、努力してもらわないといけないことが多く、月一回の勉強会を行っています。

まだ、オープン出来ないユニットもあり、満床に向けて職員と協力し努力していますが、日本人職員の雇用は必要だと切に感じます。

1名の介護福祉士合格者がありました。これからも、ほうゆうの里は理念・方針を忘れず職員と共に向上心もちスキルアップしていきたいと思えます。

[介護支援専門員]

- 1) 入居者/家族の意向を聞き取り専門職員と協働し施設サービス計画書を作成する。
コロナ禍においても入居時はフェイスシートを活用し意向の確認が出来た。定期的に家族に電話連絡を入れることで意向の確認が出来た。
- 2) 入居者/家族と連携し介護保険サービスの適切な利用を支援する。
状態の悪化が目立ってきた利用者に関しては、介護度の変更申請をすることで介護保険サービスの適切な利用を支援出来た。
- 3) 定期的なモニタリングを実施し、適切な記録の作成と入居者の状態に応じた自立を支援する。
本人/介護者に聞き取りを行いながら半年ごとに計画書を発行することで、状態に応じた自立を支援出来た。
- 4) コロナ禍においても定期的に状況報告を行い、入居者/家族の不安を解消するように努める。
半年ごとの計画書送付の際に体重や健康状態、エピソード等の近況をお知らせすることで面会休止の中でも家族の不安を少しは解消出来たと思う。

[生活相談員]

コロナ禍による自粛のなか担当者会議はできなかった。

コロナ禍の制限があり面接ができないながらも、里 14 名従来型 5 名の入居者の受け入れができたが、逝去や療養型病院へ移動により思うように部屋が埋まらなかった。

自身で訴えることができない入居者もいらっしゃるので、職員の気付きをして欲しかった。

[看護]

統一した情報収集ができるよう詳細に記録していくようつとめた。

[栄養給食]

1) 安全で質の高い食事サービスの提供

本年度も食中毒の発生はなく、厨房職員内の感染症も最小限に収めることができた。提供数のミス、副菜の入れ間違い、箸やスプーンの付け忘れなどがあったので、今後も提供前の再確認を徹底していく。ランチデイでは、衛生管理に注意して刺身の提供ができ、入居者の皆様に喜んでいただけた。

2) 入居者の健康状態や身体状況に応じた栄養管理

ユニットリーダーからの給食会議での状況報告、医務やケアマネージャーへの相談など、食形態の見直しや栄養補助食品の検討などを行うことができた。

食事箋がないと厨房内での提供情報伝達にズレが生じてしまうことがあるため、口頭での決定ではなく、食事箋の確認をもって正式に提供状態の変更とできるよう、連携をしていきたい。

3) ミールラウンドの実施により、入居者の声を参考にした献立作成に努める

新型コロナウイルスの感染対策を考え、今期は積極的にミールラウンドを行えなかったが、時間をずらして入居者の皆様に話を聞くことができた。人気のある刺身は、提供できる期間が限られているので頻繁には提供できないが、献立の種類を増やして入居者様が満足できるような献立を取り入れられるように考えていきたい。

[機能訓練]

入居者様の個別での対応を行っているが、今後は集団での関りも行っていく。

ユニットリーダーだけでなく、ユニットスタッフとのコミュニケーションも行えている。継続して情報共有、状況把握に努めていく。

[事務]

事務間同士での報告・連絡・相談(報連相)は、比較的できていた。

ご家族様への対応も気分を害されることもなくスムーズに対応できた。

[デイサービス]

1) 計画 1 に対し、概ね達成できた。

- 2) 計画2に対し、利用増に至らなかった。ただ、職員間の意見交換や情報を共有し、閉鎖する事なく、継続出来た事は良かった。
- 3) 計画3に対し、「コロナ禍も長く続いていた」又、デイでの「疥癬」の期間も長かった。

[居宅介護支援事業所]

利用者様の意思や人格を尊重しながら在宅生活が継続できるようにサービス提供を行っている。

また、地域包括支援センター等から困難支援ケースを依頼されることも多く、関係機関と連携や相談をしながら対応している。

今年度は、介護支援専門員の退職により2名の在職となり、相談件数もお断りしなくてはならず、厳しい状況であった。

[CDユニット]

- 1) 感染症対策 防ぐことの徹底 自身の健康管理
コロナ対応として、入居者様への体調の変化や手指消毒、10:30、14:30のラジオ体操時の換気の徹底が出来ていない。意識の個人差が出てしまった。
带状疱疹への対応、2名発症。初動のもたつき混乱、解除の不明確さ、認識の差がでてしまった。
- 2) 入居者様への季節行事、個別の誕生日会、少人数でのレクリエーションを数多く取り入れ生活を楽しんでいただく。
レク委員、行事委員の主体の指示不足、全職員を巻き込んで行えていない事、全職員の意識が上がる事が今後の課題。
毎月レクを行い、入居様の笑顔をたくさん見ることができたことは良かった。

[EFユニット]

- 1) スタッフ一人ひとりがゆとりを持った入居者様への対応
心に余裕をもって入居者様とコミュニケーションを取っていく。
コミュニケーションをとっていく中で入居者様の笑顔が多くみられた。
帰宅願望や不穏な状態の入居者様に対しても傾聴し対応できた。
- 2) 入居者様にストレスを感じさせない生活の場、環境づくり
外出が出来ない今、ユニット内でできるレクや季節ごとの行事を多く取り入れて行う。
2~3か月に1度レクを行い気分転換できたと思われる。
外出ができない状態がいつまで続くかわからない為、レクを行う頻度を多くして入居者様にストレスを与えないようにしていけたら良いと感じた。
- 3) 介護技術、能力の向上
介護の基本をふまえてスタッフ同士で技術(移動、移乗、その他介助)の確認をする。

スタッフ同士、それぞれの入居者様の対応方法を共有することができた。入居者様に対して負担がかからないよう意識して介助できた。

[GHユニット]

- 1) 言葉遣いや接遇について課題が残る。対応の難しい入居者も増え適宜対応する。
- 2) 介護スキルの向上は年々上がって来ている。チーム内のコミュニケーションも良いことも影響を与えている。
- 3) 今年の介護福祉士試験に向け、実務者研修受講し資格習得となる者2名。

[Jユニット]多床室

- 1) ユニットレクの定期的実施
コロナや外国人入職で落ち着いた環境を作れず、又感染予防の観点から定期的なレクの実施には至らなかった。
- 2) 職員のスキルアップ
外国人入職者とベテランのスキルの差はあるが、指示指導を行いまだまだではあるが差は埋まりつつある。今後も継続し指導して行きたい。

2. 施設利用状況実績報告

1) 特別養護老人ホーム

	定員70	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	2,100	1,501	71.5%	86.81	3.6
5月	2,170	1,529	70.5%	86.88	3.6
6月	2,100	1,484	70.7%	86.83	3.7
7月	2,170	1,516	69.9%	86.91	3.7
8月	2,170	1,504	69.3%	86.85	3.7
9月	2,100	1,489	70.9%	87.07	3.7
10月	2,170	1,599	73.7%	86.07	3.7
11月	2,100	1,620	77.1%	86.44	3.8
12月	2,170	1,697	78.2%	86.56	3.8
1月	2,170	1,692	78.0%	86.60	3.8
2月	1,960	1,512	77.1%	86.71	3.8
3月	2,170	1,662	76.6%	86.62	3.8
合計	25,550	18,805	73.6%	1,040	44.70
平均	2,129	1,567	73.6%	86.70	3.7

2) 従来型

	定員30	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	900	600	66.7%	84.05	4.2
5月	930	634	68.2%	73.8	4.0
6月	900	630	70.0%	83.88	4.0
7月	930	642	69.0%	84.00	4.0
8月	930	620	66.7%	84.47	4.0
9月	900	626	69.6%	85.06	4.2
10月	930	689	74.1%	85.58	4.2
11月	900	641	71.2%	85.66	4.2
12月	930	651	70.0%	85.16	4.2
1月	930	651	70.0%	85.25	4.2
2月	840	588	70.0%	85.53	4.2
3月	930	651	70.0%	85.41	4.2
合計	10,950	7,623	69.6%	1,008	49.6
平均	913	635	69.6%	83.99	4.1

3) ショートステイ

	定員20	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	600	30	5.0%	78.42	3.0
5月	620	31	5.0%	78.50	3.0
6月	600	30	5.0%	78.58	3.0
7月	620	31	5.0%	78.67	3.0
8月	620	31	5.0%	78.75	3.0
9月	600	18	3.0%	78.83	3.0
10月	620	0	0.0%	0.00	0
11月	600	0	0.0%	0.00	0
12月	620	0	0.0%	0.00	0
1月	620	0	0.0%	0.00	0
2月	560	0	0.0%	0.00	0
3月	620	0	0.0%	0.00	0
合計	7,300	171	2.3%	472	18.0
平均	608	14	2.3%	78.60	3.0

4) デイサービス

	定員10	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	260	170	65.4%	84.65	2.3
5月	260	164	63.1%	84.74	2.3
6月	260	177	68.1%	85.3	2.3
7月	270	185	68.5%	85.1	2.4
8月	260	178	68.5%	85.68	2.1
9月	260	189	72.7%	85.76	2.2
10月	260	171	65.8%	86.8	2.1
11月	260	163	62.7%	86.89	2.1
12月	240	124	51.7%	87.28	2.2
1月	240	105	43.8%	85.79	1.47
2月	240	105	43.8%	86.11	1.7
3月	270	132	48.9%	87.22	2.1
合計	3,080	1,863	60.5%	1,031	25.27
平均	257	155	60.5%	85.94	2.1

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R3. 4. 1	特定処遇改善加算&計画策定のポイント確認(オンライン)	2
R3. 6. 29	リスクマネージャー養成講座入門編(オンライン)	2
R3. 7. 15	「利用者の特性に応じた接し方とクレーム対応」	2
R3. 7. 20	外国人介護人材の受け入れに関する制度の説明研修会	2
R3. 10. 12	高齢者虐待の事例紹介・成年後見制度について	2
R3. 11. 11	高齢者施設向けメニューの提案研修会	2
R3. 12. 9	令和3年度介護報酬改定等のおさらい、専門職として、今やるべきことを確認	2
R3. 12. 15	「ケアマネージャーにおけるソーシャルワーク技術」	2
R4. 1. 17	高齢者虐待防止に推進・R3. 年介護保険改正への対応(オンライン)	2
R4. 2. 8	R3 年度介護認定調査員現任研修(オンライン)	1

2) 内部研修

日程	研修内容	参加人数
R4. 1. 12	オムツ講習会	16
R4. 1. 27	外国人職員対象の勉強会	11
R4. 2. 25	外国人職員対象の勉強会	7
R4. 3. 25.	外国人職員対象の勉強会	9

4. 行事報告

日程	行事内容
5月	5月人形
7月	七夕
9月	敬老会
1月	里神社参拝
2月	節分
3月	お雛様

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

--	--

2) 広報誌発行実績

ほうゆうの里だより	月1回発行
-----------	-------

3) ボランティア受入実績

--	--

VI. ほうゆうベビーホーム

1. 事業報告

令和3年度もコロナ禍でのスタートとなりました。4月～9月まで緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が長期間発出され、外出や面会等もままならない日々が続きました。

時には職員が身内間での濃厚接触者となり自宅での隔離生活を余儀なくされ、長期休養となる等、職員の欠員が度々おりましたが職員間でのチームワークは確かなものとなり協力体制を強化できたように感じます。

そして、令和3年度は養育体制の見直しを進めました。職員間で養育体制に混乱が起きないよう整理することは、子どもたちの生活が安定することに通ずると考え、以下のように養育体制の在り方の見直しを行いました。

まず、新たに採用した職員の育成について、例年通りオリエンテーション・新任研修・進捗表を用いての職員育成を行う。そして、新たな取り組みとして新任職員が担当児を受け持つ時点で専属の先輩職員を配置し、養育や書類の作成法など細かいところまでサポートできる体制とし、相談しやすく指導しやすい仕組みを整えました。これにより、安定した新任職員の成長を感じることができました。

次に、アセスメント会議について今までは、個別対応職員と心理職と対象職員で行っていたが、参加者を施設長・主任・副主任・専門職と増やし、経験と知識を元に多方面からの意見・アドバイスを交えて話し合い、児の抱えた課題を整理できるように見直しました。

更に、職員の働きやすい環境づくりとしてルールや養育の統一は会議にて話し合いにより決定することとし、また、現場が混乱しないようクラス移行等、生活上の変化が起こるとき或いは養育上の変更等、早めの伝達を伝言や掲示により行い全体周知を徹底することでスムーズな対応の移行ができるよう整理しました。

今後も、職員が働きやすく子どもたちが安心・安全に生活できる環境づくりを追求していきたいと思えます。

2. 施設利用状況報告

1) 措置入所・一時保護委託

定員：29名

	措置入所		一時保護		合計	
	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ
4月	18	540	5	183	23	723
5月	19	604	6	204	25	808
6月	19	546	7	248	26	794
7月	19	600	7	270	26	870
8月	20	593	9	277	29	870
9月	20	600	8	240	28	840
10月	20	620	8	222	28	842
11月	21	644	6	207	27	851
12月	23	703	6	174	29	877
1月	23	712	4	149	27	861
2月	22	627	6	143	28	770
3月	23	686	6	181	29	867
	247	7,475	78	2,498	325	9,973

2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
養育困難	1	家庭復帰	1
ネグレクト	6	措置変更	7
		里親委託	2
合計	7	合計	10

3) 子育て短期支援事業

※新型コロナウイルス感染症により受入停止

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
2021. 5. 28	千葉県児童福祉施設協議会 令和3年度実習指導者学習会	1
2021. 8. 10	第64回全国乳児院研修会(動画視聴)	3
2021. 9. 13~14	令和3年度千葉県児童福祉施設協議会 初任者研修会	3
2021. 10. 6	第70回記念 全国乳児院協議会(ライブ配信)	1
2021. 10. 11	第38回関ブロ乳児院協議会 職員研修会(オンライン)	2
2021. 11. 15	第55回関ブロ乳児院研究協議会(オンライン)	1
2022. 2. 8	第3回乳児院医療・看護セミナー(オンライン)	1
2022. 2. 8	第10回乳児院上級職員セミナー(オンライン)	1

2) 内部研修

日程	研修内容	人数
2021. 4. 12	乳児院の基本的理念	10
2021. 8. 10	愛着とは	12
2021. 12. 13	子どものプライバシーについて	9

4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
R3. 5. 5	端午の節句	全入所児
R3. 7. 7	七夕	全入所児
R3. 8. 26	夏祭り	20
R3. 9. 6	花火	全入所児
R3. 10. 13	運動会	12
R3. 10. 31	ハロウィン	全入所児
R3. 12. 23	クリスマス会	全入所児
R4. 1. 1	お正月	全入所児
R4. 2. 3	節分	全入所児
R4. 3. 3	桃の節句	全入所児

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	0
里親実習	0

2) ボランティア実績

保育補助	0
その他	0

3) 広報誌発行実績

No.30	No.32
No.31	

IV. 子ども未来サポートセンターやちよ

1. 事業実績報告

A、相談件数（個別相談・指導）

※設置運営要綱4－（1）（4）の一部等に該当

1、個別相談

(1) 月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	41	18	12	10	7	9	8	2	5	4	3	5	124
継続相談人数	0	19	19	15	16	24	16	19	14	15	19	27	203
月別相談実人数	41	37	31	25	23	33	24	21	19	19	22	32	327

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

(2) 月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	84	81	94	92	50	41	44	47	44	37	42	46	702
来所相談	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	8
訪問相談	13	1	2	0	0	0	0	10	3	0	0	0	29
心理療法等	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
メール相談	17	31	34	8	1	0	0	1	1	3	9	10	115
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他（ ）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	115	114	134	101	51	41	44	58	49	40	51	57	855

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のこと>

(3) 相談・指導内容の種別延件数

※（再）は再掲

養 護	虐待(再)	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	DV	その他	合計
					性格行動	不登校	適 性	しつけ				
50	31	50	9	0	120	50	6	242	1	2	325	855

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

(4) 相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機 関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上 本人	里親 里子	その他	合計
児童相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
59	57	1	0	5	8	8	270	9	34	263	138	3	855

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

B、児童相談所からの委託による指導

※設置運営要綱4－（3）に該当

< 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 実人数									0 人			

<※委託を受けた人数>

< 指導内容の種別 >

養 護	虐待(再)	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	その他	合計
					性格行動	不登校	適性	しつけ			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦

C、市町村の求めに応ずる事業

※設置運営要綱4-(2)に該当

事業名	実施回数	内容
合計	0	⑧

D、里親等への支援（相談対応「実績報告A-1、個別相談」以外の支援・事業等）

※設置運営要綱4-(4)に該当

事業名	実施回数	内容
応援ミーティング(里親・里子)	2	情報共有と支援の検討会
里親支援機関等連絡会議	3	里親支援における情報共有など
里親会総会	1	参加及びセンターの紹介
合計	6	⑨

E、関係機関等との連携・連絡調整

※設置運営要綱4-(5)に該当

事業名	実施回数	内容
要対協実務者会議	5	関係機関との連携、要保護児童等の報告と検討
要対協個別支援会議	1	情報共有と今後の支援の検討会
連携・連絡調整	88	関係機関との情報共有や支援の検討
合計	94	⑩

2. 事業実績報告集計表

①	相談の実人数(合計)	124人
②の内訳	電話相談件数	702件
	来所相談件数	8件
	訪問相談件数	29件
	心理療法等の件数	1件
	メール相談の件数	115件
	手紙相談の件数	0件
	その他の相談の件数	0件
②	相談延件数(合計)	855件

⑥	児相からの指導委託人数	0人
---	-------------	----

⑧	市町村の求めに応ずる事業	0回
⑨	「里親等への支援」(相談対応以外の支援・事業等)の回数	6回
⑩	「関係機関等との連携・連絡調整」の回数	94回
⑪	要綱に規定された事業回数(合計)	100回

⑫	相談延件数と要綱に規定された事業回数の総合計(②+⑪)	955件・回
---	-----------------------------	--------

②-1	厚労省が求める訪問相談件数(実績を2倍した件数を記入)	58件
-----	-----------------------------	-----

⑬	厚労省が求める相談延件数と事業回数の総合計(訪問相談件数を2倍にした相談延件数と事業回数の総合計を記入)	984件・回
---	--	--------

VIII. ゆうゆう保育園

1. 事業報告

当保育園は定員 90 名の認可保育園として、平成 23 年度に開設され、乳幼児の保育にあたってきました。

地域における保育ニーズは高く、当保育園への入園希望も多い状況を踏まえ、定員を超えた園児の受け入れに努め、令和 3 年度においても地域の状況等を考慮し、引き続きそれを基本に入園児の受け入れに努めました。

11 年目を迎えた昨年度は、これまでの取り組み実績の上にさらに充実した保育を行い、子どもたちが元気に安心して生活できるよう、コロナ禍ではありますが、保育環境の向上に取り組みつつきめ細かい養護及び教育に努めていきました。

また、地域における子育て援助、支援のセンターとして期待される役割を果たすため、引き続き一時保育事業、地域支援センター事業を行いました。

そして、保育士不足が問題になっている中、積極的に実習生を受け入れ、令和 3 年度においては 9 名が当保育園で実習を行いました。

令和 3 年度 4 月に 1 名入職、10 月に 1 名入職、3 月に 2 名退職しました。

支援センター事業は、新型コロナウイルス感染症対策として利用親子の人数を 5 組に制限をして実施しました。

1 月 31 日から 2 月 3 日に、当保育園関係者 8 名が新型コロナウイルス感染症を発症し、印旛保健所、又、市役所の指示のもと休園となりました。

又、3 月 30 日から 31 日に、1 歳児クラスの関係者 2 名が新型コロナウイルス感染症を発症し、印旛保健所、又、市役所の指示のもと学級閉鎖となりました。

日々、保育園内消毒、玩具消毒、当保育園関係者の感染予防対策(マスク・検温・健康チェック・手指消毒)を実施しています。

当保育園の給食室改修工事が、2 月 1 日から 2 月 24 日で行われ、1 月 31 日から 2 月 25 日までの期間、1 歳児から 5 歳児までは、お弁当給食となりました。

2. 施設利用状況実績報告

1) 年齢別クラス内訳

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6	12	18	18	18	18	90
4月	8	15	18	20	20	20	101
5月	8	15	18	20	20	20	101
6月	7	15	18	20	20	20	100
7月	8	15	18	20	20	20	101
8月	8	15	18	20	20	20	101
9月	8	15	18	20	20	20	101
10月	8	15	18	20	20	20	101
11月	8	15	18	20	20	20	101
12月	8	15	18	20	20	20	101
1月	8	15	18	20	20	20	101
2月	8	15	18	20	20	20	101
3月	8	15	18	20	20	20	101
平均	8	15	18	20	20	20	101

2) 時間外保育・一時保育・親子クラブ

	時間外保育		一時 保育	親子クラブ		
	標準	短時間		児童	保護者	合計
4月	94	7	26	52	42	94
5月	95	6	16	16	13	29
6月	93	7	29	43	38	81
7月	93	8	54	56	51	107
8月	93	8	58	39	30	69
9月	93	8	59	31	29	60
10月	93	8	47	51	44	95
11月	93	8	42	53	47	100
12月	93	8	42	58	49	107
1月	93	8	38	39	35	74
2月	92	9	20	12	9	21
3月	92	9	46	31	28	59
合計	1,117	94	477	481	415	896

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R3. 5. 26	「就学相談説明会」	2名
R3. 6. 16	「特別支援教育連絡会」	1名
R3. 6. 23	「支援学校見学」	1名
R3. 6. 29	「新社会人研修」	1名
R3. 7. 28	「幼保小連携教育研修会」	1名

2) 内部研修

日程	研修内容	人数(対象)
毎月	職員会議	全職員
	給食会議	7名
	リーダー会議	4名
	フロアー会議 未満児・以上児	全職員
	パート会議	パート職員

4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
毎月	誕生会・避難訓練・身体測定	各クラス
〃	お話し会・体操教室・リトミック教室	以上児・2歳児
R3. 4. 23	入園・進級の会	以上児
R3. 7. 7	七夕	各クラス
R3. 7. 13～8. 24	水遊び	各クラス
R3. 8. 30	泥遊び	以上児
R3. 8. 5	夏祭り	以上児
R3. 6. 22	歯科検診	各クラス
R3. 6. 23	内科健診	各クラス
R3. 10. 29	歩き遠足	以上児・2歳児
R3. 10. 9	運動会	以上児
R3. 12. 1	内科健診	各クラス
R3. 12. 21	餅つき会	以上児
R3. 12. 24	クリスマス会	各フロアー
R4. 1. 20	書道教室	5歳児
R3. 1. 21	書道教室	5歳児
R4. 2. 3	節分会	各フロアー

日程	行事内容	参加人数
R4. 3. 3	ひな祭り	各クラス
R4. 3. 12	卒園式	5歳児
R4. 3. 18	お別れ会	各フロアー
R4. 3. 19	親子遠足	5歳児

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	9名
------	----

2) 広報誌発行実績

園だより	月1回発行
------	-------

IX. ゆうゆう苑

1. 事業報告

今年度も職員不足が続き、あらゆる手段で募集しても解消できませんでした。

加えて、職員のコロナ感染、職員の家族による濃厚接触者の休みが重なり、職員不足が更に厳しい状況になりユニットの緊急移動で何とか稼働させたものの、予定していた入所率には届かず、厳しい結果になってしまいました。

特養、ショートステイともに業績が前年度よりさらに悪くなってしまいました。

原因としては、コロナ感染のクラスターの発生、また受け入れ制限等ため入所も中断になり、「稼働率 特養 79.3%(入院者除) ショートステイ 42.04% デイサービス 60%」の結果になりました。

コロナ感染禍の不安な日々は続いています、令和4年2月に緊急事態宣言が解除後面会を再開させていただきました。

まだ手放しでは喜べる状況ではありません。感染者数が再拡大した場合は高齢者への影響は大きく、高齢者施設においては慎重な対応が必要と認識しています。

また施設内に於いてはPCR検査も職員全員、毎週行って感染症拡大防止に努めました。

施設行事についてはコロナ感染の影響で省略化をしての実施となりましたが、三人行事にはユニット内や各階のフロアにて季節の行事を入居者とすることができました。

料理で工夫し行事食を提供し、スタッフと一緒に笑顔のスナップショットをご家族に発送いたしました。

職員育成研修には年間で動画を用いたeラーニング形式で実施いたしました。

「外国人は母国語の研修を並行」そのため、コロナ感染の影響を受けずに継続できたことで一定の効果が見られたと思っています。

外国人職員については、教育ユニット研修の成果が少しずつ出てきました。今年に入ってから夜勤を一人でできる外国職員が4人育ちました。

そのことにより 全床を稼働させるよう計画を重点に置き 取り組んでまいります。

[特別養護老人ホーム]

・利用者に関すること

体調不良による入院を減らす為にできる事を研修や医療、介護、栄養と連携をとって進めた。

口腔ケアのオンライン研修、栄養士による摂食状況の確認、医務室との連携による病院受診とコロナ感染予防。

・職員に関すること

コロナ禍でも研修の充実を進める為にe-ラーニングによる研修システムの定着。

介護との協力による教育ユニットの立ち上げと外国人実習生の教育。

・入所に関すること

新型コロナの影響で新規入所の入所状況が思うように進まない状況が続いたが、年度後期より積極的に長期入所を進める状態となってきた為、継続していく。

[短期入所生活介護]

コロナウイルス感染予防対策として短期入所利用の制限したことや、人員不足などの理由で稼働率が大幅に減った。

また、年度後半から利用者の事前抗原検査実施や同居する家族等の健康観察表記入を条件にして受入れを行った。

[共生型 通所サービス]

レセプト実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高齢者	16	17	17	16	17	16	20	16	16	19	19	16
放デイ	3	5	5	5	3	3	3	3	3	3	2	4

コロナ禍と言う事もあり積極的な利用者の増員を行いませんでした。その為、利用人数も伸び悩んでいる状況です。

今いる利用者を守る事を念頭に、コロナウイルス感染対策を行い、換気や消毒方法などの徹底を行いましたが、職員から1名感染者が出てしまいました。

また、ご利用者様からは感染者が出ることはありませんでしたが、特養や厨房から感染者が出る度に「念の為お休みします」と言う方が何人も出てしまい、利用実績が減りました。

レクリエーションも感染防止の観点から内容変更を行い、“風が舞わない”ように考えたり、おやつ作りやカラオケを中止したりして様子を見てきました。

令和4年度はワクチン等の状況で感染防止が図れる体制が出来ましたら定員を『18名』に戻せるようにし、毎月8割以上の稼働を目指します。

[医務]

1) 新型コロナウイルス感染症対策

令和3年10月に入所者および介護職のコロナ感染があり、10名のクラスターとなりました。保健所の指導を受け感染対策を行いました。終息するまで1か月ほどかかりました。感染対策の基本に加え、当施設に即実践可能となる対応策を検討しました。コロナ感染症患者発生のユニットの特色に多少の違いがありますが、基本的な感染対策についてユニットおよび事務所、厨房と情報を共有し、協力し合い対応することが出来ました。

今回の事例を活かし、コロナ感染症患者の早期発見と対応策について再検討いたしました。感染対策の基本に加え、本施設に即実践可能となる対応策を検討しました。

2) 入所者の健康管理

コロナ禍の状況が現在も続いており、コロナ感染症患者の早期発見に努めるため入所者様の健康管理として1日3回の体温測定を実施しました。発熱者やコロナ感染症様の症状がある入所者様は病院受診しPCR検査を受けて頂きました。当施設内でコロナ感染者がいた場合、幸有会記念病院受診が14日間できなくなります。そのため、入所者様の体調不良を早期発見するため、介護職員にバイタル測定の実施と健康に関する情報の報告を速やかに看護師に報告するように指導しました。

3) 胃ろう業務

当施設で使用している栄養剤のメーカー(明治)の営業と共同で、胃ろう業務に関する取り組みについての小冊子を作成しました。テーマは、「大容量タイプの流動食を活用した介護施設の経管栄養管理」で全国の病院や施設に営業時に配布することになりました。

2. 施設利用状況実績報告

1) 特別養護老人ホーム

	定員80	延べ 人数	稼働率	入院者 除く	稼働率	入院 日数	入院 比率	平均要 介護度	平均 年齢
4月	2,400	2,272	94.67%	2,133	88.88%	139	6.12%	3.7	86.1
5月	2,480	2,340	94.35%	2,266	91.37%	74	3.16%	3.7	85.6
6月	2,400	2,276	94.83%	2,098	87.42%	178	7.82%	3.7	85.8
7月	2,480	2,307	93.02%	2,031	81.90%	276	11.96%	3.7	85.9
8月	2,480	2,177	87.78%	1,932	77.90%	245	11.25%	3.7	86.0
9月	2,400	2,100	87.50%	1,801	75.04%	299	14.24%	3.7	86.2
10月	2,480	2,154	86.85%	1,916	77.26%	238	11.05%	3.7	86.2
11月	2,400	2,015	83.96%	1,796	74.83%	219	10.87%	3.8	86.3
12月	2,480	1,984	80.00%	1,888	76.13%	96	4.84%	3.8	86.4
1月	2,480	1,982	79.92%	1,808	72.90%	174	8.78%	3.8	86.4
2月	2,320	1,737	74.87%	1,678	72.33%	59	3.40%	3.9	86.5
3月	2,480	1,900	76.61%	1,875	75.60%	25	1.32%	3.8	86.5
合計	29,280	25,244	86.22%	23,222	79.31%	2,022	8.01%	45.0	1033.9
平均	2,440	2,104	86.20%	1,935	79.30%	169	7.90%	3.8	86.2

2) ショートステイ

	定員20	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	600	314	52.33%	81	3
5月	620	244	39.35%	82	3
6月	600	244	40.67%	82	3
7月	620	255	41.13%	82	3
8月	620	240	38.71%	82	3
9月	600	212	35.33%	82	3
10月	620	267	43.06%	82	3
11月	600	243	40.50%	82	3
12月	620	251	40.48%	82	3
1月	620	270	43.55%	82	3
2月	580	265	45.69%	82	3
3月	620	272	43.87%	82	3
合計	7,320	3,077	42.04%	981.9	38
平均	610	256	42.06%	81.8	3

3) 共生型デイサービス

	定員15	延べ 人数	再掲 (障害児)	稼働率	平均要 介護度
4月	390	228	42	58.46%	2.6
5月	405	222	32	54.81%	2.6
6月	375	248	44	66.13%	2.6
7月	405	249	39	61.48%	2.6
8月	405	219	26	54.07%	2.6
9月	375	238	36	63.47%	2.6
10月	405	229	27	56.54%	2.6
11月	390	248	34	63.59%	2.7
12月	360	252	36	70.00%	2.7
1月	405	244	31	60.25%	3.0
2月	375	217	27	57.87%	3.0
3月	390	213	31	54.62%	3.0
合計	4,680	2,807	248	59.98%	32.6
平均	390	234	31	60.1%	2.7

3. 研修報告

1) 内部研修

日程	研修内容	参加人数
R3.4~R4.3	虐待防止研修 メディパスアカデミー介護 eラーニング	介護職
	身体拘束廃止 メディパスアカデミー介護 eラーニング	
	認知症研修 メディパスアカデミー介護 eラーニング	
	介護技術向上 メディパスアカデミー介護 eラーニング	
	事故防止研修	
R3.8~R4.3	外国人 母国語研修	外国籍 介護職
R3.6.24	消火訓練	全職員
R.3.9.20	避難訓練	全職員

4. 行事報告

日程	行事内容
4月	誕生日会 花見会苑庭
5月	誕生日会 こいのぼり作成
6月	誕生日会
7月	誕生日会 夏祭り
8月	誕生日会 夏祭り
9月	誕生日会 敬老会
10月	誕生日会
11月	誕生日会
12月	誕生日会 クリスマス会
1月	誕生日会 おせち料理
2月	誕生日会 節分 豆まき
3月	誕生日会

5. その他報告事項

- 1) 施設実習等受入実績

--	--

- 2) ボランティア実績

ヘアカット	2ヵ月1回
-------	-------

